

水稻新除草剤の実用化

(農試県南分場・技術部)

I. 水田除草剤

1. 技術の内容

(1) ピリブチカルブ・プロモブチド・ベンゾフェナップ水和剤

- 1) 除草剤名等 商品名 : シーゼットフロアブル剤
 試験薬剤名 : TSM-6127077アル剤
 有効成分 : ピリブチカルブ(TSH-888) 5.7%
 プロモブチド(S-47) 10.0%
 ベンゾフェナップ(MY-71) 12.0%
 毒性 : 人畜毒性 普通物、魚毒性 A類

2) 除草剤の特性

一発処理剤としては初めてのフロアブルタイプである。防除対象雑草はノビエ1.5葉まで、その他一年生雑草及び多年生雑草のマツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロが防除可能である。ひと振りの薬剤の到達距離は6m前後であるが、拡散性が大きい剤であり、処理後の有効範囲は10~15mとなる。ノビエの抑草期間は40日を越える。

3) 使用方法

移植後5~10日(ノビエ1.5葉期)までに、湛水状態で容器から原液のままおおよそ4歩にひと振りして処理する。短辺長20m以内の圃場の場合は、畦畔4辺からの散布とし、20mを超える圃場の場合、効果の安定化のため、畦畔散布に圃場内散布(左右に振込む)を加える。散布後は、3~4日間は水を切らない。漏水の少ない水田では、中・後期の除草剤を省くこともできる。

4) 使用基準

区分	処理法	使用基準	使用量	適用土壌・地帯	適用雑草
移植 水稻	移植後 土壌処理	移植後 5~10日 (ノビエ1.5葉 期まで)	1,000 ml/10a	壤土~埴土 日減水深 2cm以下 全県下	一年生雑草、マツバイ ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ ヘラオモダカ、ヒルムシロ

2. 指導上の留意事項

- (1) 処理時期は、ノビエ1.5葉期、ホタルイ・ヘラオモダカ2.0葉期、ヒルムシロ発生盛期ミズガヤツリ発生始期まで。ミズガヤツリ・ウリカワに対する効果がやや劣るため多発田では使用しない。
- (2) 軟弱苗を移植した水田、極端な浅植をした水田、極端な深水となった水田および砂質土壌や漏水田では、稲の生育抑制や流れ葉等の葉害が強く出ることがある

